



◆12月26日(木) 曇り一時小雨 55名

昨年最後の活動日で、午後は雨との予報につき、活動は11時に終え、正月準備に入った。

ベースキャンプの入り口には大きな門松が飾られた。

里山Gは、カシナガ被害木の伐採を継続実施。農園Gは、現存の肥料置き場に四阿屋が建てられる予定なので、場所の移転を実施。景観Gは、JR線路脇の水路の落ち葉の清掃を手がけたが、溜まっている落ち葉量が多くて完了できず、残りは次回の活動とした。

ならやま池の本年最後の水生生物調査、寒くなったとはいえ、まだザリガニ、エビ、マツモムシなどは元気。ハマユウ・皇帝ダリアなど寒さに弱い花の霜囲いを完了。

お昼には男料理教室メンバーによりサンマ寿司、アジの干物、味噌汁が準備され、その上に会員からの茶粥の差し入れもあり、皆さん腹一杯となった。余興として、桜島ダイコンの重量あてクイズがあり、見事的中させた方がいた。

工作名人たちによって干支の竹細工の材料が調べられ、午後多くのメンバーが製作に取り組み、持ち帰り用のミニ門松も作られて正月準備が完了。



◆1月9日(木) 曇り 61名+2名

本年最初の活動で、天気あまりよくなかつ

たので、作業は午前中でお終り。幸か不幸か活動終了直後激しい雨となった。

里山Gは昨年の継続でカシナガ被害木の伐採。農園Gはエンドウ類の支柱づくり。景観Gは昨年からの宿題となっていたJR線路脇の水たまりの落ち葉の引き上げ作業。水路から中段へ、中段から上の段へ、さらに落ち葉置き場への連続作業で大掛かりな作業となった。池乾し中のタナゴ池では溜まった水の排水作業を実施。



11時前から餅つきを開始し、黒米など4升につき、皆さんきなこ餅、おろし餅など4個前後を食べ満腹。そのうえ女性会員が朝からベースキャンプ周辺を駆け巡り、春の七草を集めて、七草粥が振舞われた。お酒の方は形ばかりでほんの少々。

余興として福袋が準備され、抽選で干支の竹細工、野菜、イチゴ・バナナなどがお土産として提供された。

◆1月16日(木) 晴れ 57名+1名

里山Gはカシナガ被害木の伐採を全て終了、しいたけほだ木の玉切り。農園Gはエンドウ類の支え用の網張り。景観Gは竹林の整備、ビオトープ花壇と皇帝ダリア花壇の囲いづくり。

谷道側のしいたけ栽培場で盗難の形跡あり、ロープで栽培場を明示。会員から珍しい物(イノシシ肉とダイコンの煮物)が提供され、美味しくいただく。(木村 裕)